

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	福山市	学校名	福山市立至誠中学校
校長名	中尾 和彦	電話番号	084-988-0614
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	思考力と表現力の向上をめざす授業の創造		
当該ページのアドレス	http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-shisei/		
研究内容	<p>1 研究内容 小中一貫教育の下、「課題発見・解決学習」を促進し、生徒の学力の向上を図る。</p> <p>2 重点目標</p> <p>(1) 授業づくり</p> <p>① 基礎・基本+活用力の向上をめざし、仲間と共に主体的な学びを実践する</p> <p>(2) 校区スタンダードの充実 (評価基準を設定した小中共通の取組事項)</p> <p>① 「あいさつ・返事」</p> <p>② 生活習慣の確立 (早寝・早起き・朝ご飯)</p> <p>③ 家庭学習の習慣化</p> <p>(3) 「ふるさと学習」の推進</p> <p>3 カリキュラム・マネジメントによる特色ある教育課程の編成</p> <p>4 保護者・地域連携の推進</p> <p>(1) 学校行事への参加の呼びかけと職員の地域行事への参加</p> <p>(2) 校区教育推進委員会 (PTA,保護司, 民生委員, 公民館長等) の活用</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・福山市小中一貫教育推進事業 ・広島県 NIE 実践指定校 ・福山市環境学習推進校 		

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	福山市	学校名	神辺東中学校
校長名	光廣 敏樹	電話番号	084-965-1001
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
研究主題	自ら考え学ぶ単元指導案づくり ～指導案基本モデルの作成・振り返りのアンケートの実施を通して～		
当該ページのアドレス	http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-kanhigashi/		
研究内容	<p>【単元を意識した授業づくり】</p> <p>単元でつける力と単元の目標を達成するために、各時間で学習活動を明確にする。</p> <p>○学習活動の内容→【①課題の発見 ②知識や技能の習得 ③知識や技能の定着 ④知識や技能の活用 ⑤課題の解決】</p> <p>〈今年度〉</p> <p>・指導案作りを通して「生徒が自ら学び考える授業」の展開の中で、課題設定にどのような工夫をしているか、しているならばどのような仕組み、どのような課題があるかを考える。また、できていなければ、どのような工夫が考えられるかを考察する。</p> <p>〈2年度〉</p> <p>・教え合い・ペア学習など、課題解決のために「自ら学び考える授業」とするため、最も効果的だと思われる工夫を選び、その成果と課題を説明できるようにする。教師がどの方法で工夫したかを説明し成果と課題を検討できる研究協議に取り組む。</p> <p>〈3年度〉</p> <p>「生徒が自ら学び考える授業」で生徒が学んだことを表現する活動に取り組んでいるか。生徒が学習の成果を表現する場を設定し生徒が成果と課題を整理できる力が付いているかを検証する。</p>		
備考	平成27年11月13日公開研究会（道徳・各教科）		